

第14回 建築構造基準委員会 議事要旨

日時：平成29年6月15日（木）10:00～12:00

場所：中央合同庁舎4号館1階 全省庁共用123会議室

1 開会

2 議事

(1) 熊本地震を踏まえた取組について

○新耐震基準の木造住宅の耐震性能検証法について

- ・一般向け、専門家向けにはどのように周知しているのか

⇒一般向けには、(一財)日本建築防災協会がHPにリーフレットを作成。建築やリフォームの関係団体等の専門家向けには、詳細な診断方法等を公表している

- ・地盤の影響がかなり大きいと思うが、この検証法では上部構造の耐震性に着目して評価している。利用者への説明の仕方に留意すべき

⇒地盤の影響は継続的に調査中である。今回は、2000年以前の在来軸組構法の住宅について、被害の抑制に向けた取組を進めてもらうために耐震性能の検証法をまとめたものである

○防災拠点となる建築物の機能継続に係るガイドラインについて

- ・防災拠点は既存の施設も対象にしているのか

⇒まず、施設の新築を想定して求められる性能を検討してから、既存の施設の改修によって性能を確保するための方策を検討したい

- ・防災拠点の機能継続については、構造に限らず、意匠や設備の専門家が共同でチェックすべき

⇒設備、計画、防災分野とも連携して組織全体で検討しているところである

(2) 木造建築物耐震性向上サブタスクグループにおける検討について

- ・サブタスクグループの設置について、委員会として了解した

- ・検討期間はどれくらいか

⇒緊急性の高い課題、対策が概ね固まっている課題は1年程度、その他の課題は今年中に方向性まで決める予定である

(3) 長周期地震動対策について<報告>

- ・既存建築物は、設計時に用いた地震動を上回ったら検証し、上回らなかったら検証しなくていいということか。性能評価機関や設計者等と引き続き情報共有を図るべき

⇒設計時に用いた地震動を上回ったものについて、詳細な検証を求めることとしている

(4) その他<報告>

①最近の建築基準の見直し状況等について

②建築基準整備促進事業について

○建築基準整備促進事業の成果の活用状況

○平成29年度建築基準整備促進事業 新規採択課題

(説明のみで特に質疑等はなし)

以 上